

「河上肇博士関係資料」

⑪

No.	筆者名	題名	掲載紙誌名	巻・号他	発行年・月・日	発行所
405	武藤山治	河上博士との論争	公民講座		S・8・	1933 実業同志会 市民講座部
404		転向を誓って井上礼子釈放—京都の 両親の許へ—	(転) 日本女性運動資 料集成 鈴木裕子編著	第3巻	H・9・5・30	1997 不二出版
403		河上よし子釈放母娘相抱いてたゞ涙	東京朝日新聞	第17101号	S・8・12・24	1933 東京朝日新聞社
402	津田青楓	河上肇博士奥さんの此頃	婦人公論	第18年11月	S・8・11・	1933 中央公論社
401	井上絲子	獄舎の娘礼子を想ひて愛情の手を結 んで	婦人公論	第18年11月	S・8・11・	1933 中央公論社
400	武井三造	赤い小鳥の羽搏き◇河上よし子と井 上礼子が捕はれるまで◇	婦人公論	第18年11月	S・8・11・	1933 中央公論社
399	河上よし子	捕はれの囹圄より	婦人公論	第18年11月	S・8・11・	1933 中央公論社
398		井上礼子転向 —河上よし子の後を追って—	(転) 日本女性運動資 料集成 鈴木裕子編著	第3巻	H・9・5・30	1997 不二出版
397		覆面の組合「全協」大検挙で壊滅す 総員千六百九十六名	東京朝日新聞	号外	S・8・11・20	1933 東京朝日新聞社
396		共産党と全協全貌暴露(本日記事解 禁) 学習院へ魔手 卅余名検挙さる 華族、富豪、名門の子弟等	東京朝日新聞	号外	S・8・11・20	1933 東京朝日新聞社

No.	筆者名	題名	掲載紙誌名	巻・号他	発行年・月・日	発行所
416	土田杏村	河上博士について見るところ	土田杏村全集 (転)人口論發展史	第15巻Ⅲ	S・11・4・20	1936 第一書房
415	南亮三郎	「生めよ殖えよ」の人口論争	商学討究	第10巻 下冊	S・11・9・15	1936 三省堂
414	土田杏村	我国思想界の現状	土田杏村全集	第14巻Ⅳ	S・10・8・15	1935 第一書房
413	伊藤祐之	獄中の河上博士を念ふ	信仰短歌及感想集 「悲哀の人」		S・10・7・14	1935 向山堂書房
412		河上よし子さん慶応病院で産婆勤務、成績評判共によし	社会運動通信	第1657号	S・10・5・31	1935 社会運動通信社
411	丸山幹治	「ジャーナリスト随筆選集」			S・10・1・	1935 言海書房
410		公判：検挙再び非常時渦中へ、河上博士や五・一五血盟団被告出獄を予想される人々	社会運動通信	第1544号	S・10・1・15	1935 社会運動通信社
409	山田勝次郎	争の批判的概観(四) 中幕の二一	(転) 地代論争批判	第一篇第一章	S・23・3・20	1948 同友社
408		地代論は如何に研究すべきか?—その二、差額地代に関する日本での論争の批判的概観	歴史科学	第3巻8号	S・9・7・1	1934 白揚社
407	上司小剣	川上音四郎	社会運動通信	第1308号	S・9・3・26	1934 社会運動通信社
406		假出獄近き転向の河上博士 日給二十銭の模範囚、子は産婆に更生の一家	U新聞年代記	第11景	S・9・3・21	1934 中央公論社
		観相学から観た第一人者 初め強く後凶の河上肇氏	新聞名、掲載年・月・日不明、記事の内容から推定			
	武藤山治	河上博士との論争	(転) 武藤山治全集 「私の身の上話」	第1巻	S・38・8・15	1963 新潮社
			婦人と生活		S・8・	1933 婦人同志倶楽部
			(転) 武藤山治自叙伝		S・9・6・17	1934 武藤金太(非売品)

No.	筆者名	題名	掲載紙誌名	巻・号他	発行年・月・日	発行所
429		私は老廢兵 既に鬪争場裡を退去 河上博士の感想	大阪朝日新聞		S・12・6・16	1937 大阪朝日新聞社
428		出所した河上博士唇つぐんで会见 五年ぶり・白髪もめっきり、初孫の寝 顔に感傷の一夜	大阪朝日新聞		S・12・6・16	1937 大阪朝日新聞社
427		四年の鉄窓を放たれ河上博士・深夜 歸宅す 初孫の寝顔に感無量	東京朝日新聞	第18382号	S・12・6・15	1937 東京朝日新聞社
426	細迫兼光	河上肇先生に寄す	文芸春秋	第15巻6号	S・12・6・1	1937 文芸春秋社
425		出所近き河上博士安住の地を物色 静かに学者としての余生を送れと保 護観察所の心遣り	社会運動通信	第2243号	S・12・5・27	1937 社会運動通信社
424		河上博士は獄中で神兵隊調書の校正 依然信念はマルキシズム…出所を待 つ夫人	社会運動通信	第2235号	S・12・5・18	1937 社会運動通信社
423	早川幾忠	高嶺詠草(一) 河上肇氏	たかね	第10巻3月号	S・12・3・	1937
422		心憩ふ秀子夫人五年の憂愁消えて 河上博士の出所六月に迫り初孫もけ ふあすに	東京朝日新聞	第1836号	S・12・3・29	1937 東京朝日新聞社
421		愛嬢と魔嬢 河上博士提訴	東京朝日新聞	第1819号	S・11・9・22	1936 東京朝日新聞社
420	登張竹風	御弟子隨筆	文芸春秋	第14巻7号	S・11・7・1	1936 文芸春秋社
419		河上博士漸く平安 獄中・喜びの詠 草 赤にさまよふ愛嬢が結婚、緑の 地平線に立つ	東京朝日新聞	第1835号	S・11・6・30	1936 東京朝日新聞社
418		雲晴れてひらく―父娘の新生活 上博士令嬢の結婚 獄中の“父”が 贈る感涙	大阪朝日新聞	第19600号	S・11・6・30	1936 大阪朝日新聞社
417	大内兵衛	唯物史観の黎明の踏める足跡―櫛田 民蔵氏の「唯物史観」を読む	月刊、大原社会問題研 究所雑誌	第3巻5号	S・11・5・5	1936 大原社会問題 研究所

No.	筆者名	題名	掲載紙誌名	巻・号他	発行年・月・日	発行所	
430		片隅に生きる「老廃兵」の心境「刑 余老残の此瘦躯の衰へに任す」 白髪もめつきり増して…河上博士語 らぬ会见	東京朝日新聞	第18383号	S・12・6・16	1937	東京朝日新聞社
431		出所の感想 談話にかへた手記	東京朝日新聞	第18383号	S・12・6・16	1937	東京朝日新聞社
432		刑余老残の瘦躯を自然の衰へに任す 人生の挽歌 河上博士手記	東京日日新聞	第21871号	S・12・6・16	1937	東京日日新聞社
433		「人間河上」にかへる 初孫に愛の 抱擁	東京日日新聞	第21871号	S・12・6・16	1937	東京日日新聞社
434	斎藤茂吉	童馬山房夜話29	アララギ (転) 斎藤茂吉全集	第30巻7号 第12巻No.151	S・12・7・1 S・27・12・5	1937 1952	埴岡短歌会 岩波書店
435	赤城和彦(住 谷悦治)	河上肇と近衛文麿	日本評論	第12巻7号	S・12・7・1	1937	日本評論社
436	鈴木安蔵	思ひ出の旧師たち—河上、土井、吉 野の諸先生—	書物展望	第7巻8号	S・12・8・1	1937	書物展望社
437	鈴木安蔵	最近の河上博士	日本評論	第12巻8号	S・12・8・1	1937	日本評論社
438	柳沢健	シャルル・モーラスの出獄	文芸春秋	第15巻9号	S・12・9・1	1937	文芸春秋社
439	木下尚江	帝国大学と私	改造	第19巻14号	S・12・12・1	1937	改造社
440	円地與四松	寺田先生と社会科学	寺田寅彦全集	第13巻手帳(附 録)寅彦研究15 号	S・12・12・	1937	岩波書店
441	津田青楓	河上博士と私	中央公論	第53年1号	S・13・1・1	1938	中央公論社
442	喜多村俊夫	滝本誠一博士	(転) 懶画房草筆 経済学研究	第21巻1号	S・16・3・	1941	中央公論社
443		思想研究資料 新テーゼ(1932テーゼ)	思想研究資料 (転) 社会問題資料叢書	特輯第56号 第一輯2章3節	S・14・1・1 S・14・2・	1939	司法省刑事局
					S・46・10・20	1971	東洋文化社

No.	筆者名	題名	掲載紙誌名	巻・号他	発行年・月・日	発行所
444		創立廿年を迎へ興亜調の一大記念祭 喜びの経済学部祝典	京都帝国大学新聞	第296号	S・14・5・20	1939 京都帝国大学 学友会新聞部
445		往時をかへりみて更に一段の拡充へ！ 経済学部創立廿年祝典	京都帝国大学新聞	第297号	S・14・6・5	1939 京都帝国大学 学友会新聞部
446		記念展覧会に賑ふ人出	京都帝国大学新聞	第297号	S・14・6・5	1939 京都帝国大学 学友会新聞部
447		経済学部創立二十年記念経済学会大会記事	経済論叢	第49巻1号通巻 289号	S・14・7・1	1939 京都帝国大学 経済学会
448	細迫兼光	政治指導者の将来	文芸春秋	第18巻6号	S・15・4・1	1940 文芸春秋社
449	伊藤祐之	村山もと子刀自（附 獄中の河上博士への書簡）	新シオン・巡礼通信 （転）忘れえぬ人々	第6号 第三部	S・17・10・ S・43・8・1	1942 待 晨 堂
450	津田青楓	河田さんの絵	故河田博士追想記 四宮恭二編		S・17・12・20	1942 非 売 品
451	金子正道	氷谷博士最後の思出	故河田博士追想記 四宮恭二編		S・17・12・20	1942 非 売 品
452		證人申請 被告人山川均 證人河上肇	海野晋吉文書		S・19・5・31	1944